

MITSUBISHI

三菱パイプ用ファン 人感センサー付

トイレ・洗面所用

取付工事説明書

工事店さま用

形名によって取扱いが異なりますので、予め使用の形名をご確認ください。

形名表示位置



取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

取付工事を始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 電気工事は電気工事店に依頼してください。
- この製品はトイレ・洗面所に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。
- 直接屋外に排気する場合、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。
- 外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを取付けることをおすすめします。（壁面汚れ、雨水浸入、電気式シャッターばたつきの原因になります）

形名	機能	グリル形状	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-08PA5	人感センサー付(停止タイプ)	角形タテ格子 グリル	電源プラグ	●塩化ビニル管… VP、VU(呼び径φ100)	木ネジ 2本
V-08PAD5			速結端子		
V-08PALD5	人感センサー付(常時弱運転タイプ)		電源プラグ	●鋼板管(内径φ100)	
V-08PAS5	人感センサー付(停止タイプ)		速結端子	●塩化ビニル管… VP、VU(呼び径φ150)	
V-08PASD5	電気式シャッター付		速結端子		
V-12PALD5	人感センサー付(常時弱運転タイプ)		電源プラグ	●鋼板管(内径φ150)	
V-12PAS5	人感センサー付(停止タイプ)	速結端子			
V-12PASD5	電気式シャッター付				

お願い

- 高温(40℃以上)になるところに取付けないでください。(故障の原因になります)
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。(振動の原因になります)
- システム部材(ウェザーカバーなど)は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により取付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 換気扇に直射日光などが当たる場所には取付けないでください。(誤動作の原因になります)
- 間仕切など障害物のあるところには取付けないでください。(誤動作の原因になります)
- 壁スイッチを使用する場合は、通常「入」の設定としてください。(誤動作の原因になります)

外形寸法図 ⇒ 梱包箱を確認ください

取付方法

注意

- 湿気が多い場所(浴室、シャワー付洗面台・衣類乾燥機のある洗面所など)、結露する場所では使用しない(感電・故障の原因になります)

1.取付前の準備

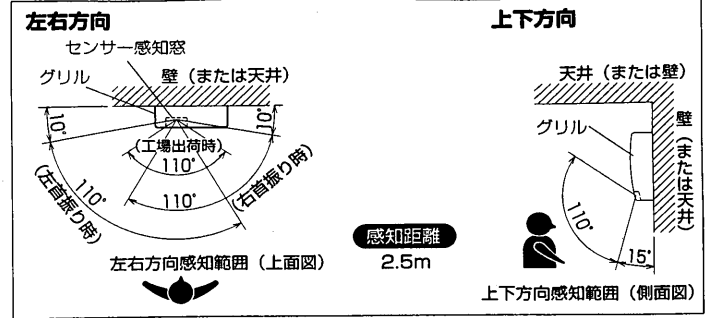
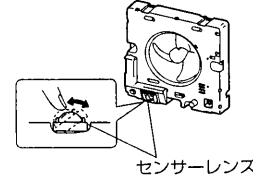
- 人の動きを感知するところに取付ける。

センサー感知範囲

センサーの向きを左右に変更することでセンサー感知範囲を下图のように変更することができます。感知するようにお好みの位置でご使用ください。

センサー感知範囲を左右に変更する場合

- 1.本体からグリルをはずす。
- 2.手でセンサーレンズの箱上側を押して方向を変える。

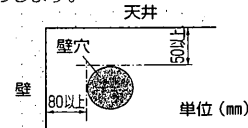


壁取付けの場合

壁穴へのパイプの固定

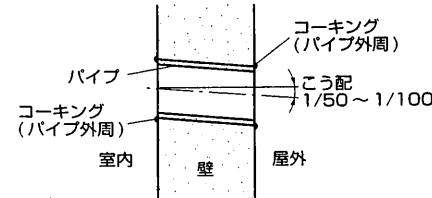
- 1.取付け場所を決めて穴をあける。

- 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
- 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に取付けてください。
- 本体左側面にスイッチがありますので、操作性を考慮して左壁面からの距離を十分離すことをおすすめします。



- 2.壁穴にパイプを確実に固定する。

- パイプと壁のすき間はコーキング処理をします。
- 速結端子タイプは電源線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込みます。



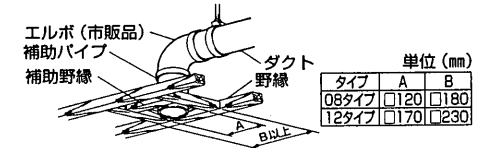
お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ固定してください。

天井取付けの場合

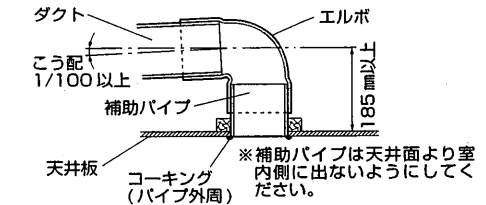
野縁工事とダクト配管

- 1.下图のように野縁工事をし、ダクト配管をする。



- 2.ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。

- 3.エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。



お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。

2.電気工事



警告

- 交流100Vを使用する
(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)



注意

- 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
(接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因になります)
- 電気工事は電気工事店に依頼する
(感電の原因になります)

■専門の電気工事店さまへ依頼し、電気設備の技術基準に基づいて行ってください。

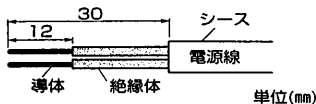
- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
- 当社以外の電子式スイッチ(半導体制御による速調スイッチ・タイマー等)をご使用の場合は組合せ上、不具合が発生するおそれがありますのでご使用の際はあらかじめご確認ください。

速結端子タイプの場合

- 1.電源線を下図の位置から室内に引き込む。
●電源線はVVVFφ1.6、φ2.0 2芯をご使用ください。



- 2.電源線の先端を下図に合わせて皮むきする。
●端子部への水浸入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。

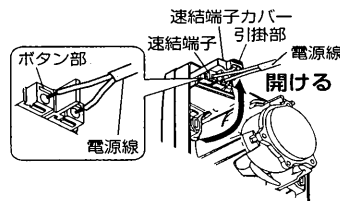


電源プラグタイプの場合

内線規程に基づくコンセントを屋内の換気扇の近くに設ける。

3.本体の取付け (壁取付け・天井取付けともに同様の取付けかたです)

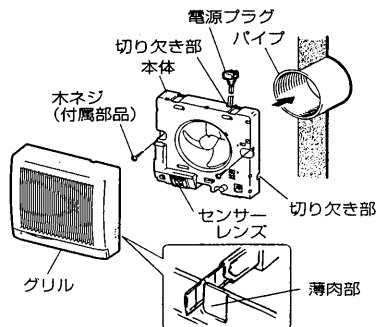
- 1.本体からグリルをはずす。
- 2.センサー感知範囲を左右に変更する場合は「取付前の準備」を参照してください。(センサーレンズの向きは、工場出荷時は正面に設定してあります)
- 3.速結端子タイプは電源線を速結端子に差し込む。
①速結端子カバーの引掛部に手を掛け、図のように開ける。
②電源線を速結端子に差し込む。
③確実に速結端子カバーを元通り閉じる。



お願い

- 電源線は確実に速結端子に差し込みます。皮むき部分が端子より出ないようにしてください。
- 電源線を軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源線は本体面に密着させて配線してください。
- 電源線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部を押しながら電源線を引き抜いてください。

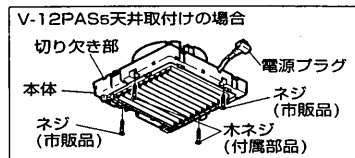
- 4.本体の上下を確認してパイプに差し込み、付属の木ネジで本体を固定する。
●パイプに差し込むとき、シャッターおよびセンサーレンズに力を加えないでください。
(シャッター付機種：V-08・12PAS5、PASD5)
●電源プラグを左右から出す場合は電線をかみ込まないように切り欠き部から引き出します。上側の本体切り欠き部は市販のテープでふさいでください。(電源プラグタイプのみ)
●石膏ボードに取付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



V-12PAS5天井取付けの場合のみ

2.8m以上の高い天井に取付ける場合は、木ネジで固定後、市販のネジを使用して本体の薄肉部(2か所)に追加固定する。

- 5.グリルを本体に取付ける。
●グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。
●電源プラグを左右から出す場合はグリルの薄肉部を切り欠き、電線をかみ込まないように切り欠き部から引き出します。
- 6.電源プラグタイプは電源プラグを専用のコンセント(単相100V)に差し込む。
- 7.以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。



試運転

取付工事が終わりましたら、下記の要領にて試運転を行ってください。

- 1.運転スイッチを「切」の位置にする。
- 2.運転スイッチを「自動」にすると運転ランプ(赤)が点灯し、強制運転(約1分間)後センサー(自動)運転に切り換わるので、センサーが人を感じると手などを動かすと換気扇が回り続ける。
(常時弱運転タイプは強運転に切り換わります)
- 3.その後紙を用意して図のようにセンサー感知窓をテープなどで止めてふさぐと約11分間(±30%)運転した後停止する。(運転ランプ(赤)が消灯)
(常時弱運転タイプは弱運転に切り換わります。運転ランプ(赤)が点灯)
- 4.紙をはずしてセンサーが人を感じると、再び運転を開始する。
(常時弱運転タイプは強運転に切り換わります)

